

## XBB.1.5 対応ワクチンの 効果

- 非臨床試験において、追加接種（4回目接種）として、XBB.1.5 対応ワクチンを投与したマウスでは、投与の1か月後にオミクロン株 XBB 系統（XBB.1.5、XBB.1.16、XBB.1.16.1、XBB.2.3、EG.5.1）に対して中和抗体の誘導が認められました。

出典：薬事・食品衛生審議会提出資料

- この試験での中和抗体価のデータに加えて、これまでの2価ワクチンに関する知見を踏まえて、XBB.1.5 対応ワクチンにはオミクロン株 XBB 系統への有効性が期待できると考えられます。

## XBB.1.5 対応ワクチンの 安全性

- ファイザー社、モデルナ社、第一三共社の XBB.1.5 対応ワクチンについて、各年齢において、下記のような副反応が報告されています。また、頻度は不明ですが、重大な副反応としてショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎が知られています。

発現割合	症 状				
	ファイザー社のワクチン			モデルナ社のワクチン	第一三共社のワクチン
	6か月～4歳	5～11歳	12歳以上	6か月以上	12歳以上
50%以上	易刺激性（※1）	疼痛（※2）、疲労	疼痛（※2）、頭痛、疲労	疼痛（※2）、頭痛、疲労、易刺激性・泣き（※1、注）	疼痛（※2）、倦怠感
5～50%	疼痛（※2）、発赤・紅斑、腫脹（※3）、傾眠（※4）、頭痛、食欲減退、下痢、嘔吐、筋肉痛、疲労、発熱、悪寒	発赤・紅斑、腫脹（※3）、頭痛、下痢、筋肉痛、関節痛、悪寒、発熱	腫脹（※3）、発赤・紅斑、下痢、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、発熱	傾眠（※4、注）、食欲減退（注）、腫脹・硬結（※5）、発赤・紅斑、悪心・嘔吐、筋肉痛、関節痛、リンパ節症（※6）、悪寒、発熱	熱感、腫脹（※3）、紅斑、そう痒感、硬結、頭痛、筋肉痛、発熱、遅発性反応（※8）、リンパ節症（※6）、発疹、腋窩痛
1～5%	関節痛	嘔吐		遅発性反応（疼痛・腫脹・紅斑等）※7)	

注：生後6か月～5歳のみ

（※1）易刺激性：機嫌が悪い（※2）疼痛：注射部位の痛み（※3）腫脹：注射部位の腫れ

（※4）傾眠：眠たくなる様子（※5）腫脹・硬結：注射部位の腫れ、固くなること

（※6）リンパ節症：注射部位と同じ側の腋の腫れや痛み（※7）遅発性反応：接種後7日目以降の痛みや腫れなど

（※8）遅発性反応：接種後7日目以降に現れる紅斑、腫脹、そう痒感、熱感、硬結、疼痛